

し

え

ん

便

り

25年9月  
発行

和歌山県立みくまの支援学校 支援部

今月号では、学部での取り組みを紹介したいと思います。

## 小学部の取り組み ～低学年編～

小学部低ブロックの「国語①」の授業の一部を紹介します。

教材で取り扱っている先生方も多いと思いますが、劇遊びは児童達の大好きな学習ですね。子ども達は楽しみながら、たくさんのことを学ぶことができます。

見る、聞く、模倣する、表現する、台詞を通して日常生活で使うやりとりのことば、出る順番やしやべる順番を待ったりすること等の行動を調整する力、ひらがなの読みや書き等々・・・

また、劇の中で実際に体を動かし、動きにことばを合わせていくことで、動きに関することばの理解が円滑になる場合もあります。

ペープサートや紙芝居を見て、登場人物やストーリーを確認しあった後に自分のやりたい役の発表をします。お面や道具作りなどでイメージを広げ、教師の劇や台詞カードを見て、台詞の確認や練習をしながら動きを入れて練習していきます。回を重ねると、アドリブを入れる余裕の出る児童もいます。

発表会に向けて他のグループの友達や先生への招待状を作ったり、自分のビデオを見たりします。発表会では、子どもたちは恥ずかしそうにしながらも普段以上の頑張りを見せています。そういう経験が自信につながっていくのだと思います。

(川上)



## 高等部の取り組み ～ステップアップ編～

ステップアップの授業は、自分らしい生き方を実現するための土台となる一人ひとりの自己(内面)を育てることをねらいとして行っています。生徒の発達段階に応じ、人との関わりを活動の中心としながら、他者との関係性の中で自己認識を深め、自己肯定感や自信などを育てていくことを目的とした授業です。今回はその取り組みの一部を紹介します。

### ～ハッピープロジェクト☆～

「自分達が学校生活を快適に過ごせるように支えてくれている方々への感謝」をテーマに行いました。給食員の方々にはミシンで作ったふきんをプレゼントしたり、事務室には何をしたらいいかを尋ね、みんなで公用車を洗車したりしました。プレゼントの方法や内容、また洗車の際の役割分担は子ども達がグループで話し合っすめました。他者に目をむけ、自分達で考えたことを形にしていく経験を通して、子ども達は周囲の人々や自分自身のよさに気づいたり、達成感を持ったりしていたように感じます。

### ～映画作り～

友達と協力して映画を作る中で、自分自身の意見を出したり、他者との折り合いをつけたりする力をつけています。また、自分以外の人を楽しんで演じることを通して、子ども達は自分以外の人気持ちに気づいたり、自分自身を再発見したりしています。

(須井)